

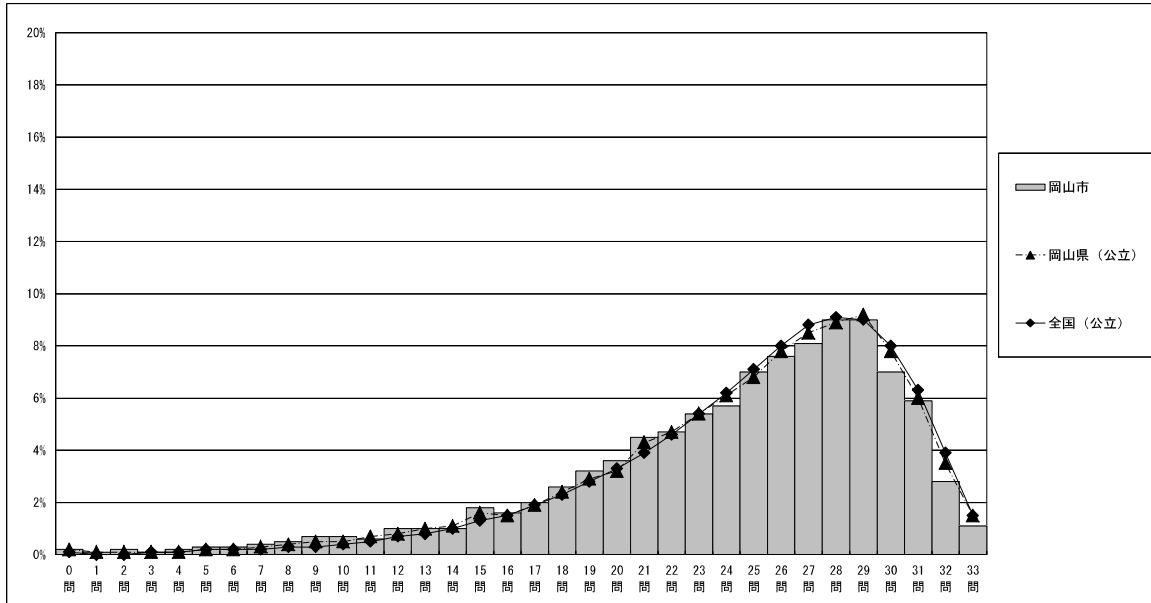
・以下の集計値ノグラフは、4月19日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

※参考値として、在籍生徒数、調査対象生徒数、当日実施生徒数、後日実施生徒数、実施生徒総数を示す。
 ※在籍生徒数及び調査対象生徒数は、学校から回答のあった生徒の人数を集計した値。
 ※当日実施生徒数は、4月19日に実施した調査（国語A）の解答用紙を提出した生徒数。
 ※後日実施生徒数は、4月20日以降5月6日までに実施した調査（国語A）の解答用紙を提出した生徒数。
 ※実施生徒総数は、当日実施生徒数と後日実施生徒数を合計した値。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,776	24.2 / 33	73.4	26.0	5.9
岡山県（公立）	16,573	24.6 / 33	74.7	26.0	5.7
全国（公立）	996,188	25.0 / 33	75.6	26.0	5.4

正答数集計値 (左：生徒数 右：割合(%))		
0問	13	0.2
1問	8	0.1
2問	9	0.2
3問	4	0.1
4問	9	0.2
5問	18	0.3
6問	15	0.3
7問	25	0.4
8問	30	0.5
9問	39	0.7
10問	38	0.7
11問	37	0.6
12問	57	1.0
13問	59	1.0
14問	58	1.0
15問	103	1.8
16問	91	1.6
17問	118	2.0
18問	152	2.6
19問	182	3.2
20問	209	3.6
21問	259	4.5
22問	274	4.7
23問	310	5.4
24問	331	5.7
25問	407	7.0
26問	441	7.6
27問	470	8.1
28問	522	9.0
29問	517	9.0
30問	405	7.0
31問	341	5.9
32問	164	2.8
33問	61	1.1

正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



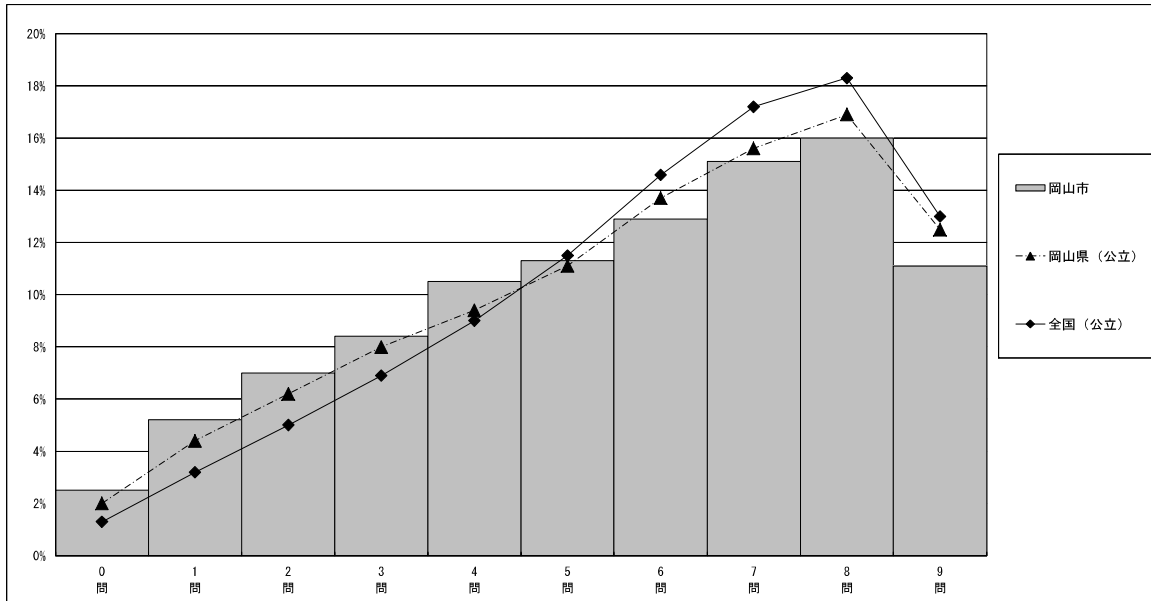
・以下の集計値ノグラフは、4月19日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

※参考値として、在籍生徒数、調査対象生徒数、当日実施生徒数、後日実施生徒数、実施生徒総数を示す。
 ※在籍生徒数及び調査対象生徒数は、学校から回答のあった生徒の人数を集計した値。
 ※当日実施生徒数は、4月19日に実施した調査（国語B）の解答用紙を提出した生徒数。
 ※後日実施生徒数は、4月20日以降5月6日までに実施した調査（国語B）の解答用紙を提出した生徒数。
 ※実施生徒総数は、当日実施生徒数と後日実施生徒数を合計した値。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,783	5.5 / 9	61.6	6.0	2.5
岡山県（公立）	16,582	5.7 / 9	63.8	6.0	2.4
全国（公立）	996,365	6.0 / 9	66.5	6.0	2.3

正答数集計値 (左：生徒数 右：割合(%))		
0問	142	2.5
1問	303	5.2
2問	404	7.0
3問	488	8.4
4問	606	10.5
5問	653	11.3
6問	745	12.9
7問	875	15.1
8問	924	16.0
9問	643	11.1

正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)
	全体	33	73.4	74.7	75.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	6	75.8	77.3	78.9
	書くこと	4	70.8	73.0	73.7
	読むこと	6	75.9	77.1	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	72.3	73.3	73.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	6	75.8	77.3	78.9
	書く能力	4	70.8	73.0	73.7
	読む能力	6	75.9	77.1	78.6
	言語についての知識・理解・技能	17	72.3	73.3	73.9
問題形式	選択式	23	71.3	72.6	73.5
	短答式	10	78.3	79.4	80.5
	記述式	0			

【読解力・表現力の定着度】
(読解力・表現力にかかわる問題の正答率の対全国比)
平成27年度 95.4 → 平成28年度 94.4
※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標
(平成28年度目標値100以上)

【生徒質問紙から】 H28岡山市(全国) H27岡山市(全国)
○国語の勉強は好きだ 61.8(59.8) 62.8(60.5)
○国語の授業の内容はよく分かる 72.7(74.1) 71.7(74.3)
○国語の授業で学習したことは、
将来、社会に出たときに役に立つ 84.4(84.6) 83.3(84.2)

設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)	岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)
1-1	聞き手をどのように想定して話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する	聞き手の立場を想定し、話の中心的部分と付加的部分との関係に注意して話す	2 イ						○			○			78.7	79.5	80.7	0.5	0.3	0.1
1-2	絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	2 ウ						○			○			75.3	76.6	78.1	0.5	0.4	0.2
2-1	パンフレットの見出しを他の見出しの書き方を参考にして書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く		2 ウ					○			○			74.6	76.6	78.1	5.5	4.4	3.5
2-2	文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する		1 イ					○			○			70.6	73.1	73.2	0.4	0.3	0.3
3-1	「ライスカリーの名に値する」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1 ア					○		○			83.3	84.3	84.7	0.4	0.3	0.2
3-2	「私」にまつてのライスカリーを説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2 イ					○		○			87.8	88.8	90.0	0.4	0.3	0.2
4-1	答えの文章を直した意図として適切なものを選択する	文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く		2 エ						○		○			64.2	66.2	64.7	0.9	0.6	0.6
4-2	質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く		1 ウ						○		○			73.6	76.0	78.7	13.2	11.0	8.7
5-1	電話を受けた相手のことを考えた言葉を書く	相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す		1 ウ					○			○			90.4	91.7	93.1	6.5	5.1	3.7
5-2	伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して話を構成する		1 イ					○			○			86.5	88.2	88.7	0.8	0.5	0.3
6-1	「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1 イ					○		○			78.5	79.5	81.3	0.8	0.5	0.4
6-2	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ			1 エ					○		○			63.5	64.9	67.3	1.0	0.7	0.6
7-1	相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する	話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する			2 エ				○			○			65.6	66.9	70.6	1.0	0.7	0.5
7-2	話合いを踏まえた発言として適切なものを選択する	互いの発言を検討して自分の考えを広げる			2 オ				○			○			58.3	61.0	62.0	1.2	0.9	0.6
8-1	奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	奥付の特徴や役割を理解する			1 カ					○		○			82.3	84.4	86.1	1.9	1.5	1.3
8-2	資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する	奥付を使って本についての情報を得る			1 カ					○		○			59.7	60.7	62.4	2.1	1.8	1.6

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)
	全体	33	73.4	74.7	75.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	6	75.8	77.3	78.9
	書くこと	4	70.8	73.0	73.7
	読むこと	6	75.9	77.1	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	72.3	73.3	73.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	6	75.8	77.3	78.9
	書く能力	4	70.8	73.0	73.7
	読む能力	6	75.9	77.1	78.6
	言語についての知識・理解・技能	17	72.3	73.3	73.9
	選択式	23	71.3	72.6	73.5
問題形式	短答式	10	78.3	79.4	80.5
	記述式	0			

設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点					問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)	岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)
9-1	漢字を書く(大学で歴史のケンキュウをする)				2(1)ウ(イ)						○	○		82.9	82.6	83.5	7.0	6.5	5.8
9-2	漢字を書く(今までにないドクソウ的な考えだ)	文脈に即して漢字を正しく書く			2(1)ウ(イ)						○	○		22.2	22.1	26.1	14.9	13.5	11.4
9-3	漢字を書く(家の庭に花を立える)				2(1)ウ(イ)						○	○		87.8	88.6	89.9	7.1	6.0	5.2
9-1	漢字を読む(封筒を開ける)				2(1)ウ(ア)						○	○		97.0	97.6	97.6	1.9	1.4	1.3
9-2	漢字を読む(長年の努力が盡された)	文脈に即して漢字を正しく読む			2(1)ウ(ア)						○	○		93.8	94.4	94.8	3.2	2.4	2.0
9-3	漢字を読む(目上の人を敬う)				2(1)ウ(ア)						○	○		78.5	81.2	82.6	7.1	5.5	4.8
9-3ア	適切な語句を選択する(彼は、忙しい仕事の合間を縫って、私に会いに来てくれた)				1(1)イ(ウ)						○	○		89.8	91.0	91.0	0.9	0.7	0.6
9-3イ	適切な語句を選択する(庶几挑戦だということは、もちろん分かっています)				1(1)イ(ウ)						○	○		96.2	97.2	97.9	0.8	0.6	0.5
9-3ウ	適切な語句を選択する(弟子を手懐に <u>かけて</u> 育てる)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			1(1)イ(ウ)						○	○		60.1	60.4	59.3	1.4	1.1	1.1
9-3エ	適切な敬語を選択する(私がプリントを集めて、先生に <u>お届けします</u>)				2(1)イ(ア)						○	○		93.3	94.6	94.3	1.0	0.7	0.6
9-3オ	適切な語句を選択する(会長候補として、白羽の矢が <u>立つ</u>)				1(1)イ(ウ)						○	○		52.5	52.1	54.0	1.2	0.9	0.8
9-4ア	漢和辞典の「意味」の中から、「 <u>賛美</u> 」の「美」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える			1(1)イ(イ)						○	○		59.4	58.6	60.3	1.5	1.2	1.0
9-4イ	漢和辞典の「意味」の中から、「 <u>褒美</u> 」の「美」の意味として適切なものを選択する				1(1)イ(イ)						○	○		60.6	62.8	62.8	1.6	1.3	1.0
9-5	文章を書き直した意図として適切なものを選択する	文の成分の照応について理解する			2(1)イ(ウ)						○	○		48.2	49.7	50.8	2.0	1.6	1.3
9-6	題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する	文字の形や大きさ、配列に注意して書く			1(2)ア						○	○		31.6	36.3	36.4	1.7	1.3	1.2
9-7-1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(違ひし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			1(1)ア(ア)						○	○		82.5	82.9	80.2	5.7	4.8	4.4
9-7-2	「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する	歌に表れた作者の思いを想像する			2(1)ア(イ)						○	○		93.1	94.1	94.9	2.2	1.8	1.7

以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	
		5,783	16,582	996,365	
分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		9	61.6	63.8	66.5
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	3	51.8	54.8	58.3
	読むこと	9	61.6	63.8	66.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	51.8	54.8	58.3
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	3	51.8	54.8	58.3
	読む能力	9	61.6	63.8	66.5
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	5	66.4	68.2	70.6
	短答式	1	66.7	68.7	71.1
	記述式	3	51.8	54.8	58.3

設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合は、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	岡山市教育委員会	岡山県（公立）
1一	ちらしの裏と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える		1イ						○			71.0	73.5	76.2	0.4	0.2	0.2
1二	関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		1カ						○			79.1	81.0	83.3	0.4	0.2	0.2
1三	ちらしの裏と裏の表現の工夫とその効果を書く	文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く	2ウ	2ウ		○	○	○			○		59.1	63.7	68.0	14.4	11.7	7.8
2一	雑誌の記事の説明として適切なものを選択する	文章の構成を捉える		1エ						○			61.0	62.3	64.9	0.4	0.3	0.2
2二	情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する		1イ						○			59.2	61.1	64.0	0.6	0.4	0.3
2三	宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える	1ア	1カ		○	○	○			○		47.7	48.1	49.2	12.1	9.5	6.0
3一	物語の展開に沿って巳之助の様子を並べ替える	文章の展開に即して内容を理解する		1ウ							○		66.7	68.7	71.1	2.9	2.1	1.2
3二	物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		1カ						○			61.8	62.9	64.7	1.3	1.0	0.8
3三	図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く	本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く	1ウ	1カ		○	○	○			○		48.5	52.6	57.7	34.1	28.8	22.8

【調査結果から】

- ◆「話すこと・聞くこと」に関する設問については、「話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する」「互いの発言を検討して自分の考えを広げる」ことに課題が見られる。相手の発言を自分の考えと比較しながら聞き、共通点や相違点を考えたり、不十分な点に気付いたりすることや、話し合いを通して広がったり深まったりした自分の考えを発言することの経験の不足が考えられる。
- ◆漢字の読み、書きや語句の意味を選択する設問は、正答率が80%を超えるものが多くあった。一方で、文脈に即して「独創」を漢字で書く設問は約22%で、全設問中で一番低い正答率である。「独」は小学校第5学年、「創」は小学校第6学年の配当漢字で既習のものであるが、解答類型から79.4%の生徒が「独」については解答できているものの「創」について書けないことが正答率の低さにつながっている。同音異義語について意味を確実に理解するとともに、どのような場面で使い分けられるのか等の活動を大切にすることが必要である。
- ◆「読むこと」「書くこと」に関する設問については、「文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」ことに課題がある。文章の構成や展開、表現の特徴について、根拠を明確にして自分の考えをまとめたり、伝えたい事実や事柄についての自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いたり、内容や表現の仕方について感想を交流したり言語活動の充実を図る必要がある。

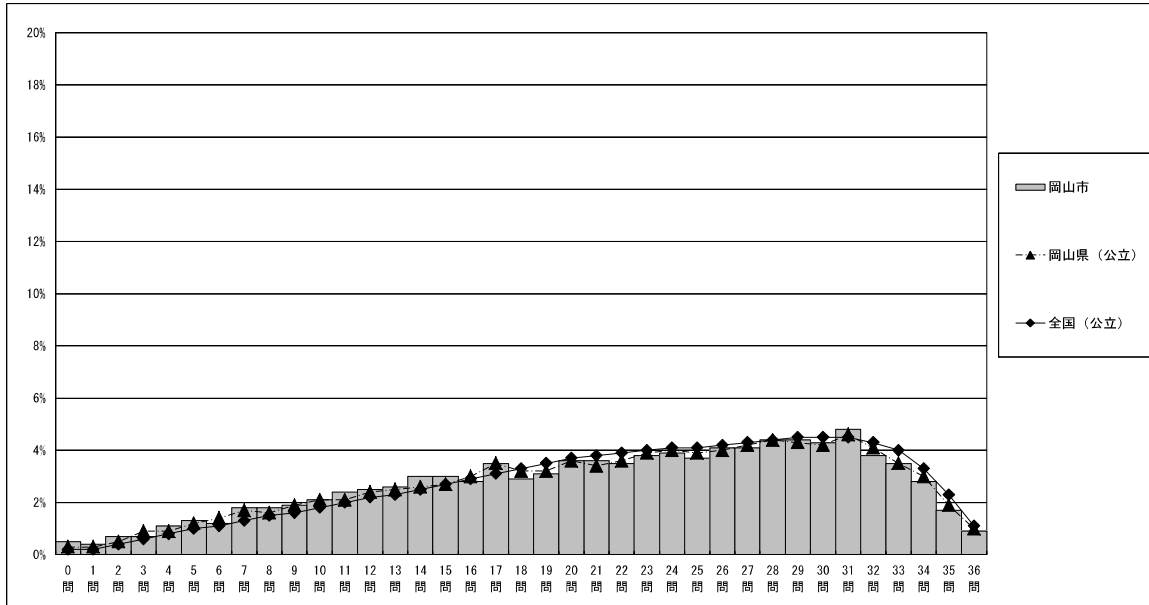
・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

- ※参考値として、在籍生徒数、調査対象生徒数、当日実施生徒数、後日実施生徒数、実施生徒総数を示す。
- ※在籍生徒数及び調査対象生徒数は、学校から回答のあった生徒の人数を集計した値。
- ※当日実施生徒数は、4月19日に実施した調査（数学A）の解答用紙を提出した生徒数。
- ※後日実施生徒数は、4月20日以降5月6日までに実施した調査（数学A）の解答用紙を提出した生徒数。
- ※実施生徒総数は、当日実施生徒数と後日実施生徒数を合計した値。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,778	21.5 / 36	59.6	23.0	8.7
岡山県（公立）	16,580	21.7 / 36	60.3	23.0	8.6
全国（公立）	996,502	22.4 / 36	62.2	23.0	8.3

正答数集計値 (左：生徒数 右：割合(%))		
0問	28	0.5
1問	23	0.4
2問	40	0.7
3問	41	0.7
4問	63	1.1
5問	75	1.3
6問	67	1.2
7問	106	1.8
8問	103	1.8
9問	112	1.9
10問	120	2.1
11問	137	2.4
12問	142	2.5
13問	149	2.6
14問	171	3.0
15問	171	3.0
16問	164	2.8
17問	203	3.5
18問	166	2.9
19問	179	3.1
20問	209	3.6
21問	206	3.6
22問	200	3.5
23問	221	3.8
24問	225	3.9
25問	211	3.7
26問	236	4.1
27問	236	4.1
28問	254	4.4
29問	255	4.4
30問	250	4.3
31問	277	4.8
32問	222	3.8
33問	203	3.5
34問	162	2.8
35問	101	1.7
36問	50	0.9

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



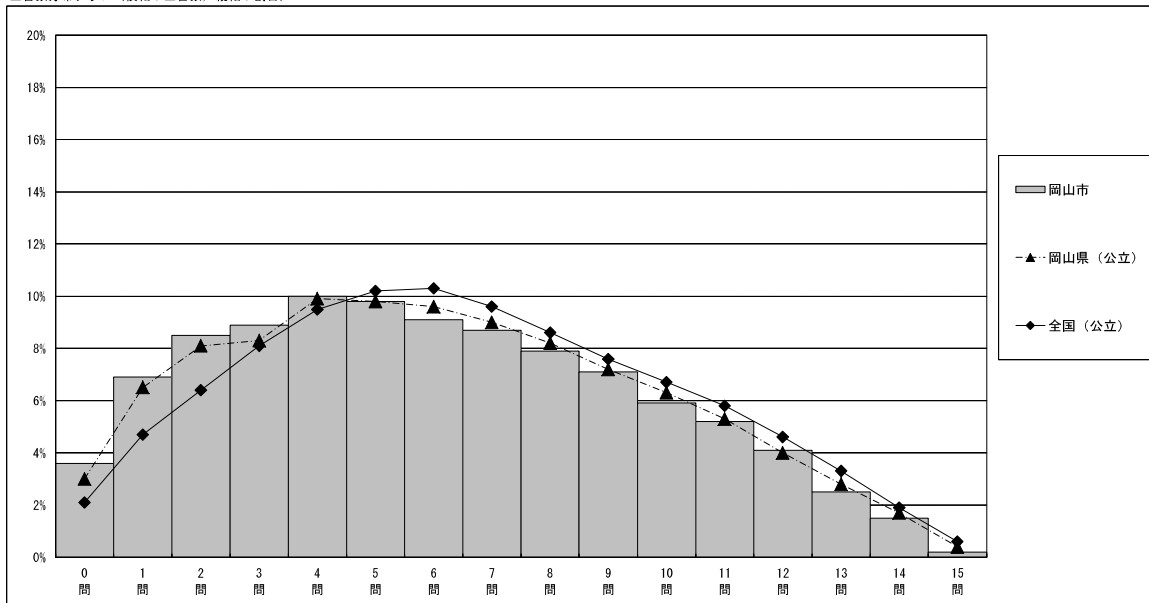
・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

- ※参考値として、在籍生徒数、調査対象生徒数、当日実施生徒数、後日実施生徒数、実施生徒総数を示す。
- ※在籍生徒数及び調査対象生徒数は、学校から回答のあった生徒の人数を集計した値。
- ※当日実施生徒数は、4月19日に実施した調査（数学B）の解答用紙を提出した生徒数。
- ※後日実施生徒数は、4月20日以降5月6日までに実施した調査（数学B）の解答用紙を提出した生徒数。
- ※実施生徒総数は、当日実施生徒数と後日実施生徒数を合計した値。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,774	6.1 / 15	40.4	6.0	3.6
岡山県（公立）	16,571	6.2 / 15	41.4	6.0	3.6
全国（公立）	996,578	6.6 / 15	44.1	6.0	3.5

正答数集計値 (左：生徒数 右：割合(%))		
0問	206	3.6
1問	399	6.9
2問	489	8.5
3問	511	8.9
4問	579	10.0
5問	568	9.8
6問	524	9.1
7問	502	8.7
8問	459	7.9
9問	412	7.1
10問	342	5.9
11問	302	5.2
12問	234	4.1
13問	145	2.5
14問	88	1.5
15問	14	0.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



設問別調査結果 [数学A：主として知識]
岡山市教育委員会一生徒

以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)	
		5,778	16,580	996,502	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)
全体		36	59.6	60.3	62.2
学習指導要領の領域	数と式	12	63.0	63.8	65.9
	図形	12	64.1	65.1	67.1
	関数	8	50.1	50.1	52.0
	資料の活用	4	55.3	55.6	56.5
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	19	64.2	64.8	66.9
	数量や図形などについての知識・理解	17	54.6	55.2	56.8
問題形式	選択式	13	55.3	56.0	57.8
	短答式	23	62.1	62.7	64.6
	記述式	0			

【読解力・表現力の定着度】

(読解力・表現力にかかわる問題の正答率の対全国比)

平成27年度 90.4 → 平成28年度 90.7

※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標
(平成28年度目標値100以上)

【生徒質問紙から】

	H28岡山市(全国)	H27岡山市(全国)
○数学の勉強は好きだ	55.0(56.0)	53.9(56.0)
○数学の授業の内容はよく分かる	65.5(69.4)	67.7(71.8)
○数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	72.1(71.5)	73.6(72.5)

設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合は、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)	岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)	
																				岡山県(公立)
1(1)	$\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算する	分数と小数の乗法の計算ができる	小6(1)イ					○*							63.2	63.5	66.9	7.9	6.7	5.0
1(2)	-5, 0, 1, 2, 5, 4の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解している	1(1)ア						○	○					38.1	37.8	40.6	0.4	0.3	0.2
1(3)	$-3 + (-7)$ を計算する	正の数と負の数の加法の計算ができる	1(1)ウ					○			○				90.0	90.2	91.6	1.7	1.3	0.7
1(4)	今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1(1)ア,エ						○	○					65.2	67.2	69.0	0.6	0.5	0.3
2(1)	ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaを用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	1(2)エ					○			○				31.3	30.7	32.2	16.2	15.2	12.5
2(2)	$(2x+5y) + 3(x-2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1)ア					○							78.4	80.0	84.0	4.6	3.8	2.5
2(3)	ある数aについて、不等式 $a > 5$ と表せる事柄を選ぶ	不等式の意味を読み取ることができる	1(2)エ					○		○					77.7	78.6	78.2	0.7	0.5	0.3
2(4)	等式 $S = ah$ をhについて解く	具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる	2(1)ウ					○							63.8	64.7	67.9	11.2	10.2	8.2
3(1)	一元一次方程式 $x + 12 = -2x$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	1(3)ウ					○			○				69.7	70.0	71.3	7.6	6.9	5.1
3(2)	一元一次方程式 $2x = x + 3$ の解について、正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	1(3)ア						○	○					43.8	45.0	47.2	1.0	0.7	0.5
3(3)	縦と横の長さの比が5:8の長方形の看板について、縦の長さが4.5cmのときの横の長さx cmを決めるための比例式をつくる	具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることができる	1(3)ウ					○			○				47.4	50.1	52.3	21.7	18.8	15.4
3(4)	方程式 $2x + y = x - y = 3$ から、xとyの値を求めるための連立方程式を完成させる	2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことができる	2(2)イ,ウ					○			○				87.4	88.2	89.7	8.2	7.0	5.4
4(1)	与えられた方法で作図された直線について、正しい記述を選ぶ	垂線の作図の方法について理解している	1(1)ア						○	○					32.5	33.5	30.9	1.3	0.9	0.8
4(2)	$\triangle ABC$ を、直線を軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかきことができる	1(1)イ					○			○				67.2	67.9	71.8	2.9	2.5	2.0
5(1)	三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	空間における直線と直線との位置関係(辺と辺とがねじれの位置にあること)を理解している	1(2)ア						○		○				74.7	73.9	75.5	4.5	3.5	2.6
5(2)	四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く	四角形をその面に垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解している	1(2)イ						○		○				68.8	70.4	74.0	7.5	7.0	5.6
5(3)	立方体の見取り図を読み取り、2つの角の大きさの関係について、正しい記述を選ぶ	見取り図に表された立方体の角の大きさの関係について、正しい記述を選ぶことができる	1(2)イ					○		○					75.4	77.3	78.8	1.1	0.8	0.6
5(4)	円柱の体積が 600cm^3 のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める	円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $\frac{1}{3}$ であることを理解している	1(2)ウ					○			○				46.1	47.9	49.9	18.2	16.2	14.2

以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数	岡山市教育委員会 5,778	岡山県（公立） 16,580	全国（公立） 996,502
-------	-------------------	-------------------	-------------------

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	全体	38	59.6	60.3	62.2
	数と式	12	63.0	63.8	65.9
	図形	12	64.1	65.1	67.1
	関数	8	50.1	50.1	52.0
	資料の活用	4	55.3	55.6	56.5
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	19	64.2	64.8	66.9
	数量や図形などについての知識・理解	17	54.6	55.2	56.8
問題形式	選択式	13	55.3	56.0	57.8
	短答式	23	62.1	62.7	64.6
	記述式	0			

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)				
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	岡山市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）		
6(1)	平行線や角の性質を用いて∠APBの大きさを求める	平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる		2(1) ア												70.2	71.0	74.8	6.5	5.8	4.5
6(2)	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	多角形の外角の和の性質を理解している		2(1) イ												66.8	68.3	69.3	1.3	1.1	0.8
7(1)	△ABCと△DEFが合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	三角形の合同条件を理解している		2(2) ア												67.9	68.3	70.8	1.3	1.1	0.8
7(2)	ひし形の対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表す	ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことができる		2(2) イウ												72.0	73.1	74.7	14.0	12.8	11.4
7(3)	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	命題の逆を理解している		2(2) イ												69.6	70.9	72.3	10.2	8.9	7.7
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している		2(2) イウ												57.2	59.1	61.9	2.0	1.5	1.2
9(1)	比例の表を完成させる	比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる		1(1) エ												85.6	86.6	87.9	5.4	4.3	3.2
9(2)	比例 y = 2x について、x の値が 1 から 4 まで増加したときの y の増加量を求める	比例の式について、xの増加量に伴うyの増加量を求めることができる		1(1) エ												35.0	35.5	39.4	16.0	14.5	12.1
9(3)	反比例を表した事象を選ぶ	具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している		1(1) イ												43.1	42.3	42.0	2.3	1.7	1.3
9(4)	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から、xとyの関係を表す式を求めることができる		1(1) エ												38.4	37.4	34.5	17.3	16.3	14.8
10(1)	一次関数の表からグラフを選ぶ	一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している		2(1) イ												57.5	58.4	61.9	2.5	2.0	1.6
10(2)	一次関数の式から変化の割合を求める	一次関数 y = ax + b について、変化の割合が一定で a の値に等しいことを理解している		2(1) イ												52.9	53.1	54.6	25.3	23.9	22.3
10(3)	一次関数のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求める	一次関数のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求めることができる		2(1) イ												37.4	37.3	43.0	22.8	21.5	18.9
11	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことができる		2(1) ア												50.8	50.0	53.0	17.8	16.9	14.1
12(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる		1(1) ア												49.5	50.5	45.5	18.9	17.1	17.4
12(2)	ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ	測定値が与えられた場合において、近似値と誤差の意味を理解している		1(1) イ												31.7	31.9	34.7	3.3	2.9	2.5
13(1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解している		2(1) ア												61.9	60.7	66.0	2.5	2.2	1.9
13(2)	1から13までの数字が書かれた13枚のカードから5または11のカードをひく確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる		2(1) ア												78.0	79.3	79.6	11.0	9.6	8.5

以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数	岡山市教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)
	5,774	16,571	996,578

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)
	全体	15	40.4	41.4	44.1
学習指導要領の領域	数と式	6	46.9	48.1	51.5
	図形	2	29.8	30.3	33.3
	関数	5	38.5	39.2	41.4
	資料の活用	2	36.3	38.3	39.3
	数学への関心・意欲・態度	0			
評価の観点	数学的な見方や考え方	11	35.3	36.4	38.9
	数学的な技能	4	54.5	55.3	58.5
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	2	38.4	39.1	41.3
	短答式	6	54.0	54.7	57.8
	記述式	7	29.3	30.7	33.1

※一つの設問が複数の区分に該当する場合はあるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)				
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	岡山県(公立)	全国(公立)		
1(1)	1試合の時間を16分とすると、1回の休憩の時間を求める	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	1(3)ウ					○				○	77.0	77.1	79.3	2.7	2.2	1.2			
1(2)	葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる	1(3)ウ					○				○	29.0	30.1	33.4	25.0	23.2	19.3			
1(3)	1試合の時間を10分とすることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する	適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる	1(3)ウ					○				○	45.0	47.8	51.4	3.9	3.6	2.3			
2(1)	一次関数の表からx=4のときのyの値を求める	条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる			2(1)イ				○				○	53.2	52.9	59.1	13.8	12.3	8.7		
2(2)	x=4のときy=9になるように、xとyの関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する	加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる			1(1)エ				○				○	18.4	19.4	20.6	11.7	11.0	8.2		
3(1)	A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる			2(1)イ、エ				○					○	63.4	63.9	67.4	6.3	5.0	3.4	
3(2)	B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ	グラフの傾きを事象に即して解釈することができる			2(1)イ、エ				○					○	28.6	29.2	29.8	1.5	1.0	0.7	
3(3)	A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2(1)イ、エ				○					○	28.7	30.3	30.3	15.8	14.4	12.1	
4(1)	2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる			2(2)イ、ウ				○					○	26.1	26.5	29.4	30.2	28.2	22.3	
4(2)	DA:DC=1:2のときの△DECがどのような三角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる			2(2)ウ				○					○	33.5	34.1	37.3	36.7	34.4	30.5	
5(1)	24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1)イ				○					○	41.7	44.2	47.6	27.5	24.3	19.3	
5(2)	25.5cmの靴が貸し出された回数と相対度数を求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる			1(1)イ					○				○	30.9	32.3	31.1	36.5	33.5	33.5	
6(1)	最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	小4(4)							○*					○	70.4	72.2	76.4	18.0	16.0	12.8
6(2)	文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てはめる方法を説明する	与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる			2(1)イ、ウ				○					○	11.8	12.6	15.4	50.3	46.7	41.5	
6(3)	当てる方法を変えるとき、新しい数当てゲームの手順について当てはまる言葉を選ぶ	計算の過程を振り返って考え、数当てゲームの新しい手順を完成させることができる			2(1)ウ				○					○	48.1	49.1	52.9	5.2	4.8	4.5	

* 評価の観点は、数量や図形についての技能(小学校)に対応させている

【調査結果から】

- ◆「数と式」の領域における正の数と負の数の加法の計算の設問では、正答率が90%である(A1(3))。学習の中で、計算のきまりに着目してその誤りを見出したり、正しく計算し直したりする活動を大切にすることが成果として考えられる。
- ◆比例の関係を表す表からxの値に対応するyの値を求める設問では、正答率が80%を超えている(A9(1))。比例の表から2つの数量の変化や対応の特徴を捉えたり、xの値に対応するyの値を求めたりする活動によって、比例の意味の理解を深めることを大切にしたい指導を行っていることが成果として考えられる。
- ◆与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現する設問では、事象に即して解釈したり、数学的な表現を用いて説明したりすることに課題が見られる(B1(2))。実生活の場面を想定して、問題を解決する活動を取り入れ、目的に応じて必要な条件を設定し、数量の関係について文字式や方程式等を活用して考えるようにする指導が大切である。

